



極東開発工業株式会社

証券コード:7226



第82期  
期末決算のご報告

2016年4月1日～2017年3月31日



## トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

2016年4月1日から2017年3月31日までの当社第82期営業の概況についてご報告申し上げます。

### ■ 2017年3月期の概況

当連結会計年度における我が国経済は、国内設備投資および個人消費が堅調であったことなどから総じて緩やかな回復基調であったものの、海外では新興国経済の減速リスクや、英国のEU離脱および米国の政権交代などもあり、先行き不透明なまま推移しました。

このような中、当社グループは中期経営計画2016-18 ～Value up to the Next～(2016年4月1日～2019年3月31日)の初年度として、企業品質の向上および収益基盤の強化を図るべく、各種施策を実行しました。

この結果、当連結会計年度の業績は前連結会計年度と比較して、主力である特装車事業が増加したこと等により、売上高は2,882百万円(2.8%)増加して106,745百万円となりました。損益面では、営業利益は645百万円(6.2%)増加して11,146百万円、経常利益は1,280百万円(13.2%)増加して10,959百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は2,096百万円(34.7%)増加して8,130百万円となりました。

## ■ 今後の見通し

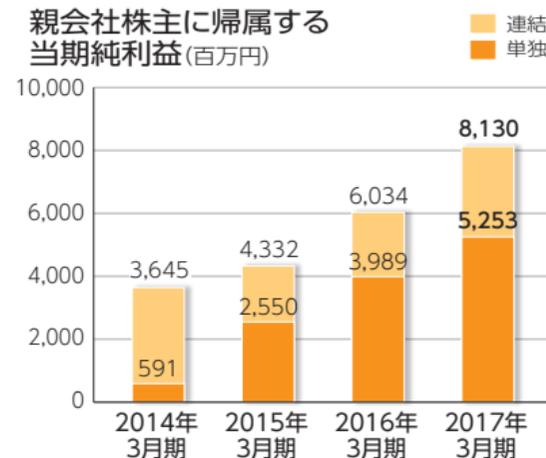
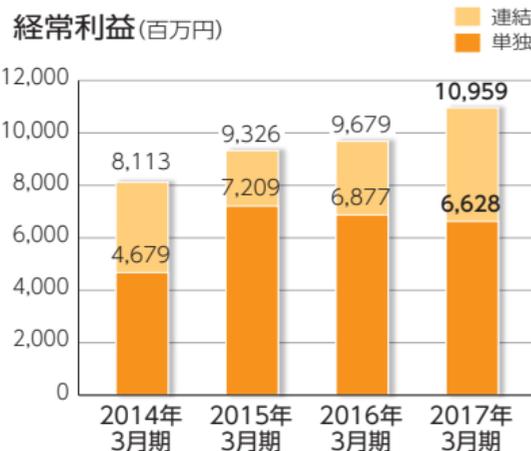
我が国経済は、雇用・所得環境や企業利益の改善などにより底堅く推移すると見込まれる一方で、新興国経済の不確実性、米国新政権の政策動向の影響や地政学的リスクの顕在化等により、依然として先行き不透明な状況が続くものと思われまます。

当社グループは、中期経営計画2016-18 ~Value up to the Next~ (2016年4月1日~2019年3月31日)のもと、売上・利益の確保および企業価値の一層の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2017年6月 取締役社長 **高橋和也**

## ■ 業績ハイライト



都市部での様々なロケーションに対応する新機構のごみ収集車

## 都市型ごみ収集車「スライドパック® GB40-520」を発売

都市部におけるごみ収集形態に適した新機構のごみ収集車「スライドパック GB40-520」を開発し、発売いたしました。新型車は、状況に応じて車両の後方と側方のどちらからでも収集物の積み込みが可能なスライド天蓋など、現場での作業を考慮した各種装備のほか、今までのごみ収集車にないスッキリとした車両デザインを確保しながらも、全長・全高・全幅を抑えたことによる抜群の機動力の確保など、狭小路やビル地下をはじめとした都市部での様々なロケーションを想定し、作業性・デザイン性・機動性を徹底的に磨き上げました。

都市部における不燃物収集や戸別収集などのごみ収集形態にしっかりと対応する、新しいカタチのごみ収集車です。



名古屋駅南の「ささしまライブ24」地区に407台の駐車が可能で自走式立体駐車場が完成！

## 「P.ZONE® ささしまライブパーキング」がオープン

名古屋駅南の再開発エリアである「ささしまライブ24」地区にて建設を行っていましたが、407台の駐車が可能で大規模自走式立体駐車場「P.ZONE ささしまライブパーキング」が完成し、2017年4月1日にオープンいたしました。

本事業地である「ささしまライブ24」地区は、JR名古屋駅の南に広がる旧国鉄笹島貨物駅跡地の約12.4ヘクタールと、中川運河船だまり周辺を含む地区で、現在、2027年度のリニア新幹線の開業に向けた本格的な再開発が行われており、今後の発展が非常に期待されています。

本駐車場は、5階建てで駐車可能台数が407台の自走式立体駐車場です。今後は本地区のランドマークとして、車で来訪されるお客様に最大限の利便性を提供いたします。

### 施設概要

所在地 愛知県名古屋市中村区  
敷地面積 3,035㎡  
建物 S造5階建・延床面積：8,621.5㎡



バイオガスプラント事業を強化

## 株式会社モリプラントの全株式を取得しグループ化

当社は環境事業部において2015年より参入したバイオガスプラント事業強化の一環として、株式会社モリプラントの全株式を2016年11月1日付で取得しグループ化（完全子会社化）いたしました。

モリプラントは、家畜糞尿や生ごみ・木くず等の再生可能な生物由来の有機性資源（バイオマス）の堆肥化、汚水処理・脱臭処理、バイオガス発電等のプラント設計・施工とメンテナンスを行っている会社で、1979年に設立されて以来37年以上の豊富な実績と知見を持っており、バイオガスプラントの分野で強いブランド力を有しております。今回のモリプラントのグループ化により、バイオガスプラントに関する幅広い技術を取得し、拡販につなげる方針です。

また、技術提携を行っているコーンズ社が受注した北海道興部町の興部北興バイオガスプラントの建設を当社も共同で行い、2016年12月には北海道豊浦町様からバイオガスプラントの建設工事を受注しました。

### モリプラント概要

商号	株式会社モリプラント
本店所在地	大阪府大阪市阿倍野区
代表者	代表取締役 中崎 幸男
事業内容	プラント設計・施工、メンテナンス (排水処理装置・汚水処理施設・脱臭処理施設・堆肥化処理施設等)
設立	1979年3月
資本金	20百万円
取得日	2016年11月1日



興部北興バイオガスプラント

スマートエネルギーWeek2017内

## 「第2回 [国際] バイオマス発電展」に出展いたしました

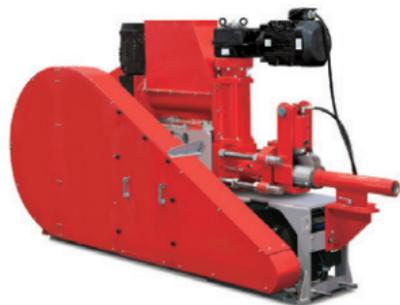
遠藤工業株式会社と当社は、2017年3月に開催された「第2回 [国際] バイオマス発電展」に共同で出展いたしました。当展示会では、遠藤工業のバイオマス用破砕機および当社の突き押し式成形機の実機展示を行うことにより、バイオマス関連機器を広くPRすると同時に、両社が培ってきたノウハウと強みを活かした総合的なバイオマス破砕・成形システムのご提案を行いました。

### 製品展示



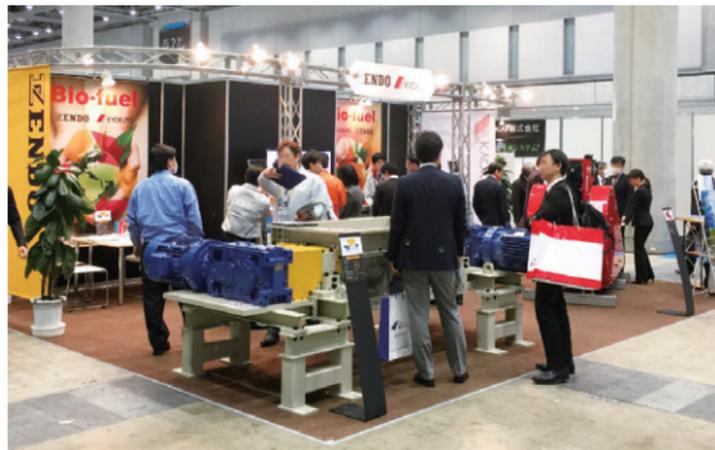
**ENDO**

バイオマス用破砕機



**KYOKUTO**

突き押し式成形機



### 「第2回 [国際] バイオマス発電展」概要

名称 第2回 [国際] バイオマス発電展  
主催 リードエグジビジョンジャパン株式会社  
開催月 2017年3月  
会場 東京ビッグサイト (東京国際展示場)

トレーラシェア国内No.1

## 工場紹介 日本トレクス株式会社 本社事業所・音羽事業所

日本トレクス株式会社は1964年に日本トールモービル株式会社という社名で設立されました。その後1996年に現在名に社名変更し、2007年に当社グループとなりました。現在は愛知県豊川市にある本社事業所および音羽事業所にて、国内シェアNo.1（※）となるトレーラをはじめ、ウイング・バンボデー、コンテナなどを製造・販売しています。  
（※2017年3月期同社調べ）

### 会社概要

商号 日本トレクス株式会社  
 本社所在地 愛知県豊川市  
 代表者 代表取締役社長 西川柳一郎  
 設立 1964年8月1日  
 資本金 2,011百万円  
 従業員数 983名



本社事業所全景



ウイングセミトレーラ



脱着バンボデー

### 年間生産台数



冷凍車事業強化

## 日本初 欧州断熱パネル生産設備の導入

温度管理車（冷凍車・保冷車）事業強化の一環として、最新鋭の断熱パネル生産設備を本社工場内に導入し、品質向上および生産能力を増強しました。

温度管理車（冷凍車・保冷車）は食品輸送・医薬品輸送など様々な分野で使用され、今後も安定した需要が見込まれます。また、輸送品質の要求も高まる状況にあり、同社はこの市場要求に対応するため約9億円を投資し、欧州製最新鋭断熱パネル生産設備を導入しました。

パネル面材に発泡原液を流し込みプレスするウレタンオープンフォーミング工法を国内で初めて車両用パネルとして採用。断熱性に優れたウレタン素材の採用により保冷性能は約20%アップ（従来比）、さらに車輛全体の構造を改良し大型クラスで約170kg軽量化（従来比）しました。

また、欧州のトレーラ市場においては同技術の採用が進んでおり、今後検証を進めトレーラ系温度管理車（冷凍車・保冷車）へも順次拡大する方針です。



フラットパネルバンボデー



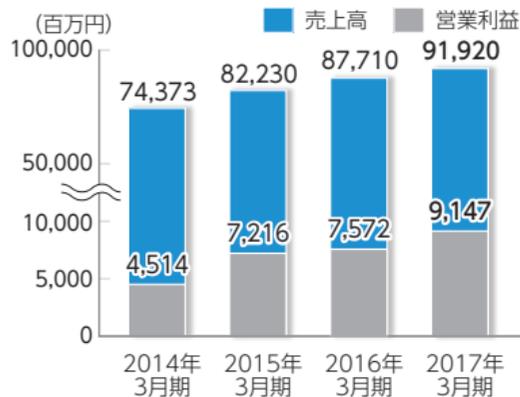
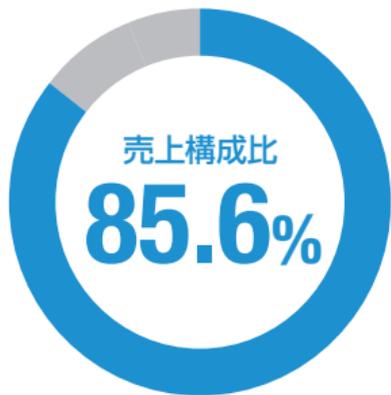
フラットパネルウイングボデー



フラットパネルバンセミトレーラ

## ■ セグメント別概況

### [ 特装車事業 ]



コンクリートポンプ車  
(ピストンクリート®PY100-36A-S)

国内需要は、物流系車両が引き続き好調であったことや、建設系車両の一部が期の後半に回復基調に転じたことなどにより、高水準で推移しました。

当社グループでは、物流系のトレーラ、ウイング・バンボデー、テールゲートリフトおよび環境系のごみ収集車および脱着ボデー車について重点的に販売を行ったほか、生産の効率化と合理化を図るべく、設備投資および生産・供給体制の整備を行いました。



ウイングボデー

海外は、タイ工場においてミキサートラックの生産を開始したほか、インドネシア工場では現地での需要が高いミキサートラック、ダンプトラックの拡販と生産体制の整備を図りました。

これらの結果、売上高は4,209百万円（4.8%）増加して91,920百万円となりました。営業利益は1,575百万円（20.8%）増加して9,147百万円となりました。

■ 国内普通トラック登録台数の推移



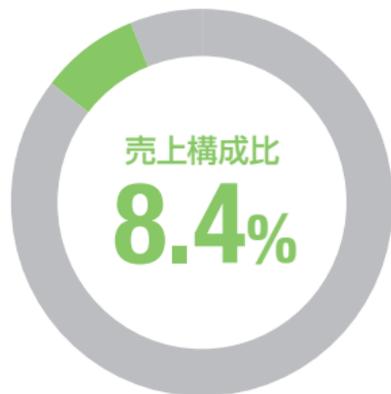
1台積車輛運搬車（フラトップ® Zeroll）



インド仕様「VOLVO向けダンプトラック」

## ■ セグメント別概況

### [ 環境事業 ]

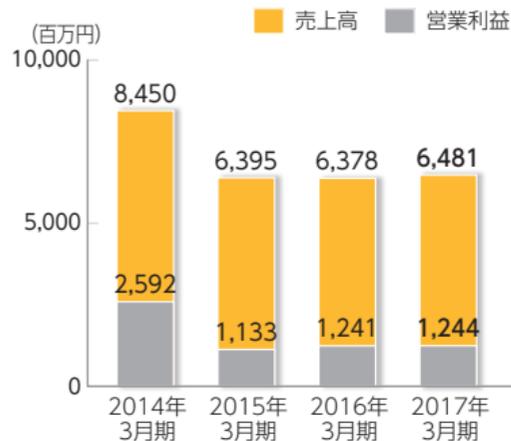
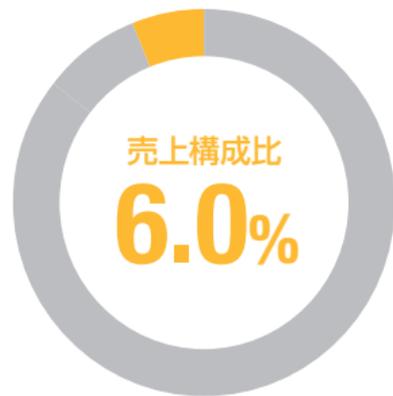


津市リサイクルセンター（三重県）

プラント建設では新規物件の受注活動を進めたことで、2016年12月に茨城県つくば市様、2017年1月に大崎地域広域行政事務組合様よりリサイクルプラント建設工事を受注いたしました。また受注済物件の建設工事と併せ、引き続きメンテナンス・運転受託といったストックビジネスにも注力しました。

しかしながらプラント部門の工事進行基準売上の減少により、売上高は1,411百万円（13.5%）減少して9,027百万円となりました。営業利益は637百万円（30.6%）減少して1,447百万円となりました。

## [ 不動産賃貸等事業 ]



コインパーキング  
(P.ZONE®)



立体駐車装置  
(地下パーク 3N)

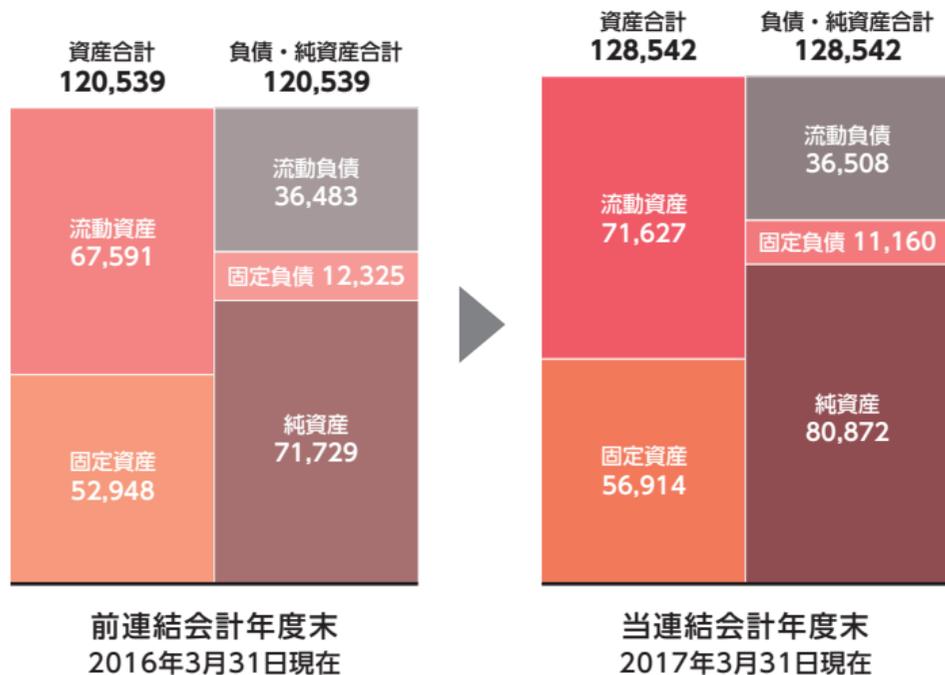
立体駐車装置は厳しい市場環境が続きましたが、ストックビジネスとしてのリニューアルおよびメンテナンスに注力しました。コインパーキングは、引き続き採算性を重視した事業地の選別と確保を図りました。

海外では、インドネシアにおいて立体駐車装置の初号機の建設を進めました。

これらの結果、売上高は102百万円 (1.6%) 増加して6,481百万円となりました。営業利益は3百万円 (0.2%) 増加して1,244百万円となりました。

## ■ 連結財務データ (日本基準)

### 連結貸借対照表の概要 (百万円)



### ..... ポイント解説 .....

当連結会計年度の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、総資産は8,002百万円 (6.6%) 増加して128,542百万円となりました。

流動資産につきましては、有価証券の増加等により4,036百万円 (6.0%) 増加して71,627百万円となりました。固定資産につきましては、投資有価証券の時価の上昇等により3,966百万円 (7.5%) 増加して56,914百万円となりました。

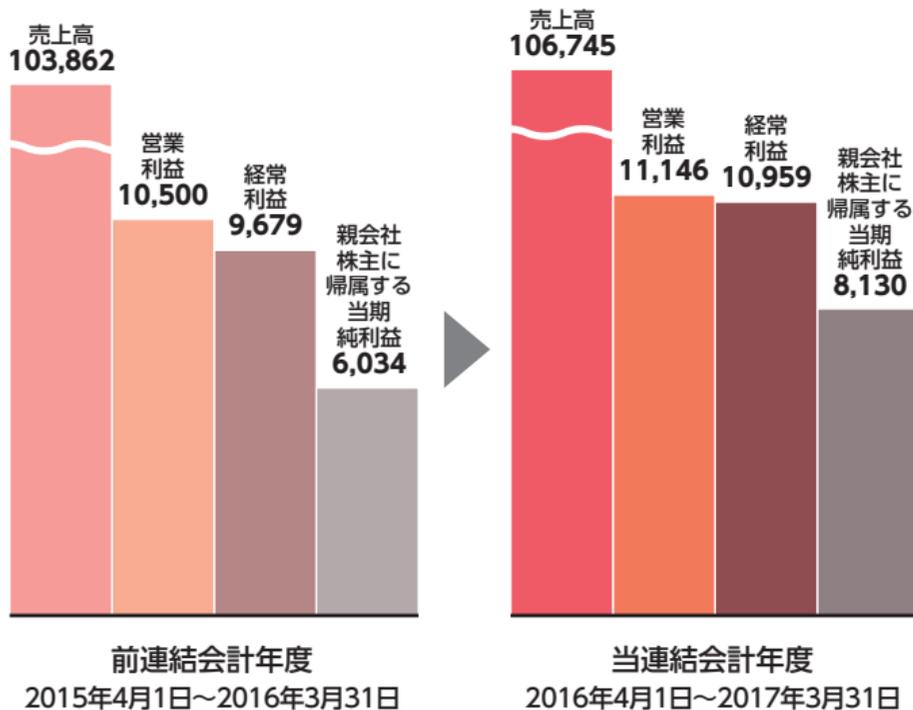
負債につきましては、流動負債は電子記録債務の増加等により24百万円 (0.1%) 増加して36,508百万円、固定負債は長期借入金の返済等により1,164百万円 (9.4%) 減少して11,160百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する当期純利益を計上したこと等により、9,143百万円 (12.7%) 増加して80,872百万円となりました。

なお、当連結会計年度末現在の自己資本比率は62.3% (前連結会計年度末59.5%) となりました。



## 連結損益計算書の概要 (百万円)



### ..... ポイント解説 .....

主力の特装車事業の需要が想定を上回る水準で推移する中、グループ丸となって受注確保ならびに生産対応に努めた結果、売上高および利益につきましてそれぞれ増加いたしました。

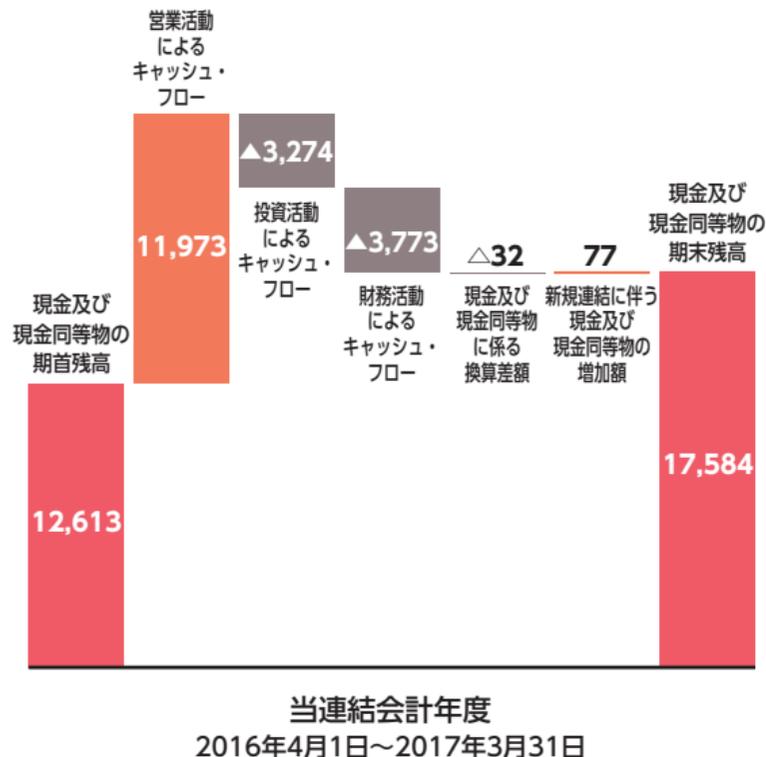
これにより連結ベースで売上高106,745百万円、営業利益11,146百万円、経常利益10,959百万円、親会社株主に帰属する当期純利益8,130百万円に到達いたしました。

今後とも当社グループでは更なる業績の拡大に向けて引き続き諸施策に取り組んでまいります。

.....

## ■ 連結財務データ (日本基準)

### 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)



### ..... ポイント解説 .....

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて4,970百万円 (39.4%) 増加して、17,584百万円となりました。その主な内訳は次のとおりです。

#### ・営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金収支は、11,973百万円 (前年同期比+5,063百万円) となりました。これは税金等調整前当期純利益の計上及び売上債権が減少したこと等によるものです。

#### ・投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金収支は、△3,274百万円 (前年同期比+159百万円) となりました。これは固定資産の取得等によるものです。

#### ・財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金収支は、△3,773百万円 (前年同期比△2,825百万円) となりました。これは借入金の返済を行ったこと等によるものです。

.....

## 利益還元について

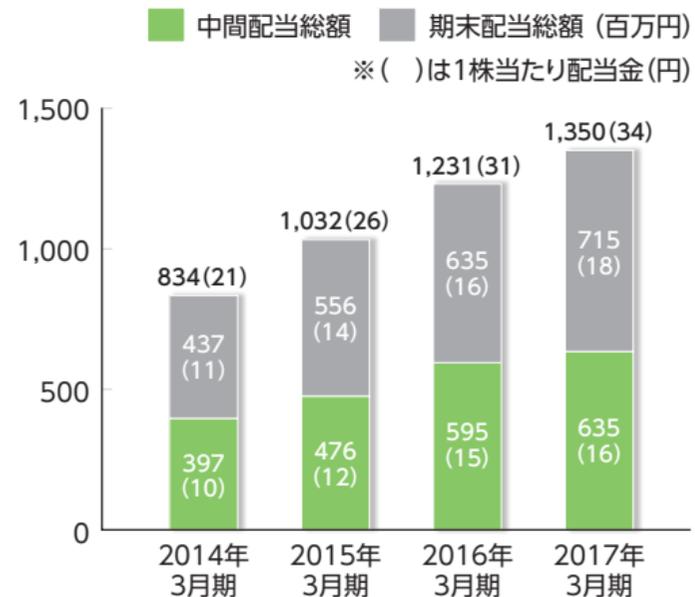
当社グループでは、株主還元を経営の最重要政策の一つと考え、業績の向上と財務体質の強化を図りながら、将来の事業展開、経済情勢等を勘案して、株主の皆様のご期待にお応えできるよう努めております。

## 配当について

2017年3月期の期末配当金につきましては、前期末配当金より1株当たり2円増配の18円とさせていただきます。

これにより、中間配当金を含めました年間配当金は、前年実績の31円と比較して1株当たり3円増配の34円となります。

## 配当総額の推移



## ■ 企業データ (2017年3月31日現在)

### [ 会社概要 ]

商 号	極東開発工業株式会社 KYOKUTO KAIHATSU KOGYO CO., LTD.
設 立	1955年6月1日
資 本 金	11,899,867,400円
従 業 員 数	連結2,670名 単独987名

### [ 役 員 ] (2017年6月28日現在)

代表取締役社長 社長執行役員	高 橋 和 也
代表取締役専務 専務執行役員	近 藤 治 弘
取締役 常務執行役員	杉 本 治 己
取締役 常務執行役員	米 田 卓
取締役 常務執行役員	酒 井 郁 也
取締役 執行役員	則 光 健 男
取締役 執行役員	布 原 達 也

社 外 取 締 役	木 戸 洋 二
社 外 取 締 役	道 上 明
常 勤 監 査 役	高 島 義 典
監 査 役	植 山 友 幾
社 外 監 査 役	楠 守 雄
社 外 監 査 役	乘 鞍 良 彦
執 行 役 員	堀 本 昇
執 行 役 員	加 藤 定 宣
執 行 役 員	櫻 井 晃
執 行 役 員	栗 山 裕 章
執 行 役 員	細 澤 幸 広
執 行 役 員	原 田 一 彦

## ■ 株式データ (2017年3月31日現在)

### [ 株式の状況 ]

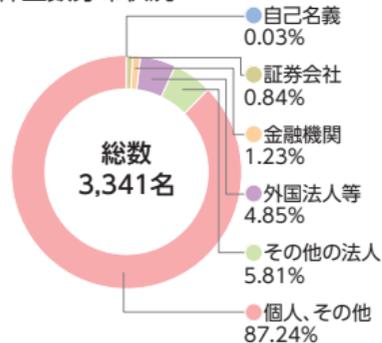
発行可能株式総数 170,950,672株  
 発行済株式総数 42,737,668株  
 株主数 3,341名  
 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,150	5.41
株式会社三井住友銀行	1,600	4.03
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 みなと銀行口	1,498	3.77
極東開発共栄会	1,227	3.09
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,138	2.86
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,012	2.55
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	894	2.25
宮原 幾男	843	2.12
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 トヨタ自動車口	837	2.10
株式会社奥村組	761	1.92

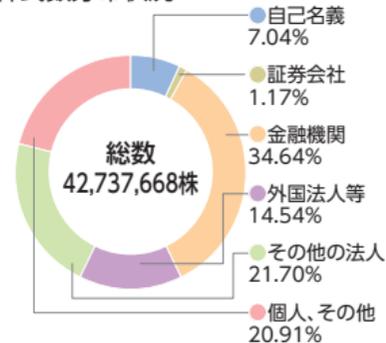
(注) 持株比率は、当社が保有する自己株式 (3,009 千株) を控除して計算しております。

### [ 株式分布状況 ]

株主数分布状況



株式数分布状況



### [ 株価・売買高の推移 ]



※株価は月末の終値を示しています。

## [ 株主メモ ]

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当金受領株主確定日	期末 3月31日 中間 9月30日
公告方法	電子公告 当社ホームページにて掲載 ( <a href="http://www.kyokuto.com/">http://www.kyokuto.com/</a> )
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場取引所	東京証券取引所市場第一部

**Kyokuto Kaihatsu Kogyo Co., Ltd.**

## <ご注意>

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

この冊子に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

〒663-8545 兵庫県西宮市甲子園口6丁目1番45号

極東開発工業株式会社 総務部

TEL:0798-66-1000

URL:<http://www.kyokuto.com/>

MAIL:[soumu@kyokuto.com](mailto:soumu@kyokuto.com)

社名・商品名・ロゴ等は各社の商標または登録商標です。

